



【学校だより】

# つながり

令和7年10月31日

香川大学教育学部附属坂出小学校

## 「褒める」って？

先日、「先生、あのな。昨日、〇〇買ってくれたんで」と話をしてくれた子供がいました。買ってくれた理由を尋ねると、「この前の大会でよい成績をとったから」と。私は「よく頑張ったから買ってくれたんやね」というと、すごくうれしそうに買ってもらった物の話をしてくれました。

子供は、自分の頑張りを褒めてもらいたい気持ちでいっぱいです。だから大人は、「よく頑張ったね」とか「すごいね、次も頑張ろう」と、頑張った結果や次への期待を込めた言葉をかけます。頑張った結果は分かりやすく、そして、褒めやすいものです。ただ、学校では、結果ではなく、頑張りが続けた過程、結果を出すまでの間を褒めることを大切にしています。何かに挑戦する間には、失敗があります。また、挫けそうなきももあります。そんな中でも最後まで頑張りが続けたことができたことを「褒める」のです。ただこの褒めるタイミングがとても難しいです。それは、子供を見続けていなければならないからです。しかし、子供に張り付いて様子を見ることは、無理です。そこで、過程を褒めるポイントは、「ちょっとした変化」を見付けることです。大きい変化ではなく、ほんの少しの変化でよいのです。そして、できるだけ大袈裟に「褒める」のです。これが、実は子供が一番欲しい褒め言葉かもしれません。「ちょっとした変化」を見付けるには、子供の様子を適宜見ることで見つけられます。これは、意識すればできます。「さっきより、いい感じよ」「あれ、すごい〇〇みたいになってきているじゃない、頑張ったね」と褒めるのです。お子様の喜ぶ姿やとびっきりの笑顔をご覧になりたい方は、一度お試しください。

### 【本校のいじめ対策について】

「四国新聞」10月30日にて、文部科学省が実施した2024年度の「児童生徒の問題行動・不登校調査」の県関係の結果の報告が掲載されました。

本校でもこの調査に参加し、いじめを積極的に認知し、早期発見、想起対応ができるように取り組んでおります。いじめの内容は、「冷やかしゃ悪口」や「軽くぶつかられる・蹴られる」ことが示されております。このような行動を意図的に行った場合は、本校でも「いじめ」と捉えています。また、記事にもありましたように、最近多くなっているのが、「交流サイト(SNS)を介した中傷」です。SNSに関するいじめはやトラブルは、本校でも増えてきております。併せて、ネットゲーム、課金制度のあるもの、など、保護者の方が知らないうちにトラブルになっていることも全国的に起こっております。どうぞ今一度、インターネットを使う際に、どのように使うか、またどのようなトラブルが起こるかなど、トラブルをいろいろ想定して、必ずお子様にお話ください。また、コミュニケーションツールには、年齢制限があります。今一度、保護者の方もご覧ください。なお学校は、このような「いじめ」に関することで、トラブルの解決や対応が難しくなった場合は、警察や児童相談所など専門的な機関にお伝えする義務があります。その点お知りおきください。



日	月	火	水	木	金	土
						1 県陸上記録会 6年
2	3 文化の日 県陸上記録会 5年	4 体育館朝会	5 県一斉シェイクアウト 私の考えを語る会 (市民ホール)	6 委員会⑥ (6年:写真)	7 藤澤 SSW (午後) 川人 SC (午後)	8 3東・4西 国語・社会 研究授業
9	10 市一斉 パトロール	11	12 研究会のため 下校13:00	13 クラブ⑥ (6年:写真)	14 移動図書	15 附小 フェスタ 附坂小 マルシェ
16	17 振替休業日	18 児童集会 お話ママーズ	19 講話・講演③ 人間国宝 大倉源次郎さん をお迎えして 藤澤 SSW (午後)	20 避難袋による避難訓練 (3年)	21 坂高連携 市人権展 (~27まで)	22
23 勤労感謝の日	24 振替休日	25 藤澤 SSW	26	27	28	29 附坂中 入試説明会 (小:体育館) 9:30~
30	<div data-bbox="300 1294 544 1332" data-label="Section-Header"> <p><b>【12月の予定】</b></p> </div> <div data-bbox="300 1346 1449 1433" data-label="Text"> <p>4日(木)脊柱側弯症検査(5年)      23日(火)期末懇談会      下校9:50 12日(金)絵画鑑賞      24日(水)終業式      下校11:20</p> </div>					

**11月19日(水)10:20~11:05**

「人間国宝」能楽師 大倉源次郎さんをお迎えます。

《大倉源次郎さんを少し紹介します。》

能楽小鼓方大倉流16世宗家を務めていらっしゃる、誰もが日本文化である「能」と気軽に会えるよう「能楽堂を出た能」をプロデュースされるなど、日本国内だけでなく、世界中でご活躍をされています。小鼓との出会いや演奏にかける思いなど語っていただく予定です。



また、この日には、香川県にゆかりのある能楽師 令以野 陽子さんも来ていただけることになっております。またとない機会ですので、お話を伺いたい方は、こちらよりお申込みください。



